

**INTAKE TEMP
SG-IT**

取扱説明書

この度はPIVOT ステッピングゲージシリーズをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読み下さい。

セット内容						
メーター本体	フレキシブル スタンド	コの字ステー	吸気温センサー	5Pカブラー コード	3Pカブラー コード	カットギボシ x2
ヘキサコ レンチ	両面テープ x3	六角ネジ x1	フランジ付 六角ナットx1	ばね座金 x1	ローレットナット x1	センサー止め ナット x1

取扱説明書 x1

SG-ITの特長

吸気温専用の高速反応センサー採用で急激な温度変化にも素早く追従し、
正確で高精度な温度表示が行えます。

ステッピングモーターと独自開発のドライブ回路により、世界一のハイレスポンスと
高精度化を実現。

実戦のラリー、レーシングカーにそのまま対応できる耐熱、耐振動、精度を実現。

ピークデータをワンタッチで表示するピークスイッチ内蔵。

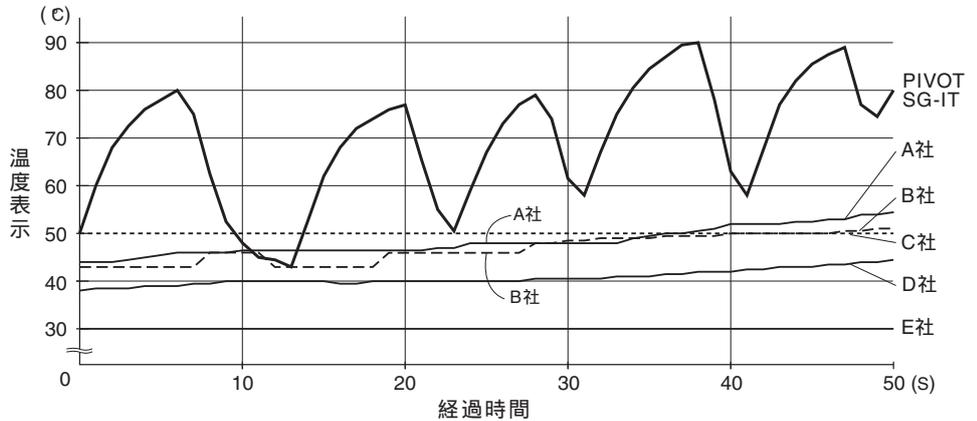
見やすく球切れのないLED白色照明。明るさ調整機能付。

【オープニングデモ】

キースイッチONすると、機能上(原点検出)のため、針が一定の動作をします。

吸気温計反応速度比較

右記のように通常の温度計(水温計等)では、気体の急激な温度変化にセンサー感度が追従できず、その変化を正確に表示しません。SG-ITはF-1カーに採用されるセンサー構造で素早い温度追従を実現しました。



測定方法 = 直径60mmのパイプに各センサーを同時設置し、
1kwのドライヤーで管内を約数秒間隔で熱風と
冷風の送風を繰り返す

用途



ターボブースト時の空気
圧縮による温度上昇のチ
ェック。



スポーツクリーナー装着に
よる温度上昇や遮へい板
の効果チェック。



インタークーラーの冷却
性チェック。

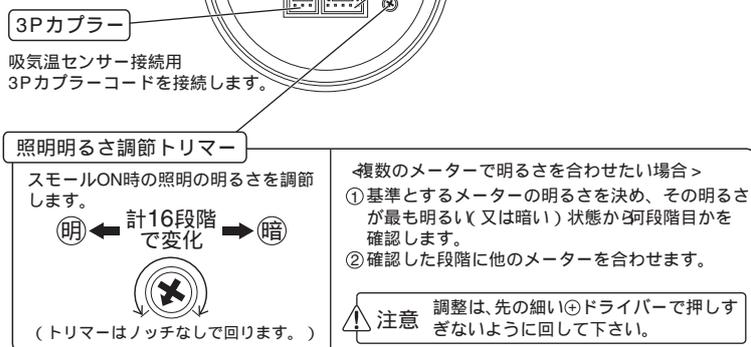
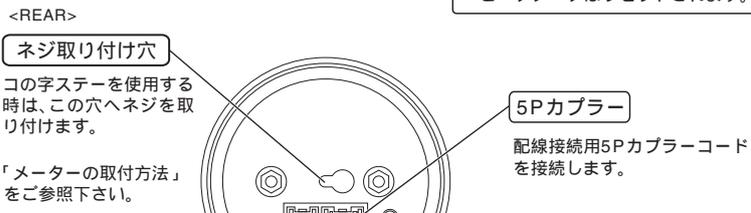
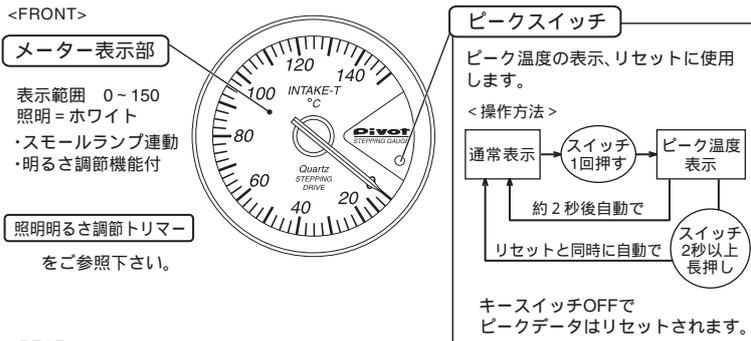


ウォータースプレーの効
果、噴射タイミングのボ
イント。



吸気温対燃料、点火時期
などのセッティング。

各部の名称と操作方法



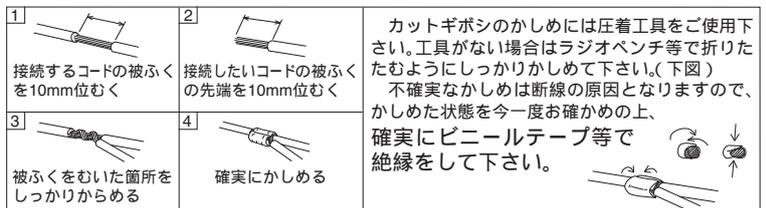
故障と思われる前に

修理依頼なさる前に、次の項目をご確認下さい。

症状	原因	対策
キースイッチONでオ ーピングデモ動作し ない。	赤コードの接続又は接触 不良。 黒コードの接続又は接触 不良。	各コードの接続状態を確認する。
温度表示が変化しない。	吸気温センサーのオス・メス ギボシの接続不良。 3Pカブラーの接続不良。 吸気温センサーの破損。	各箇所の接続状態を確認する。 (有償修理となります。)
スモールONにしても メーターの照明が 点灯しない。	オレンジコードの接続又は接 触不良。 照明明ろさ調節トリマーが右いっ ぱい(最も暗い位置)になっ ている。	オレンジコードの接続状態 を確認する。 照明明ろさ調節トリマーを左へ回し ていき、明るさを調節す る。
照明の色が他のメー ターと多少異なる。	照明用LED自体のパラツキのため、故障ではありません。 また、完全な同色にはできませんのでご了承下さい。	
キーOFF時の位置で 針が止まる。	ステッピングモーターの特性上で故障ではありません。 キースイッチONでオープニングデモ後に適正な温度表示をすれば 正常です。	

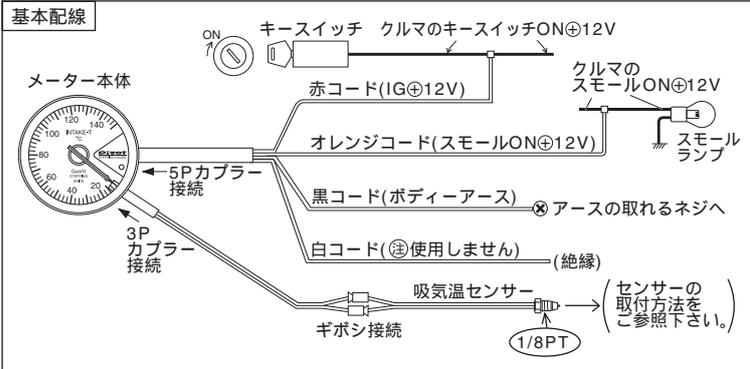
カットギボシの使用方法

半田付けができる場合は行って下さい。



作業時のご注意

- 安全作業のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。(検電時は戻す)
- ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
 - ・カットギボシは、使用方法に従って確実にカシメ、絶縁処理をします。
 - ・オス・メスギボシは、それぞれ確実に接続し、カバーで絶縁されるようにします。
- コードの引き回しは、ショートや断線の無いよう、ご注意ください。
- センサーやコードに急な曲げやねじれが加わらない様に、取付場所をよくご検討の上、お取り付け下さい。
- 走行後等のエンジン周りが熱い状態での作業は火傷やケガの恐れがあるため、冷えてから行って下さい。



- 接続方法**
- 5Pカブラーコードの接続
 - 各コードをそれぞれ確実に接続します。赤コード=キースイッチONで⊕12Vの流れる配線(IG⊕12V)へ接続します。オレンジコード=スモールランプスイッチONで⊕12Vの流れる配線へ接続します。黒コード=アースの取れる鉄板に取り付けネジ(ボディーアース)へ接続します。(白コード=使用しません。)
 - 5Pカブラーは、メーターのウラへ接続します。
 - 3Pカブラーコードの接続
 - オス・メスギボシの付いている方を、車輛ハーネスグロメット等を利用してエンジンルームへ引き出します。
 - 吸気温センサーから出ているコードのオス・メスギボシと、引き出したオス・メスギボシをそれぞれ確実に接続します。
 - 3Pカブラーはメーターのウラへ接続します。

メーターの取付方法

A コの字ステーを使用しての取り付け

パネル裏側から固定する場合

1 コの字ステー取り付け用のネジの取り付け

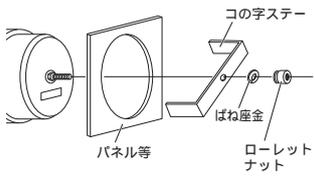
- 付属の六角ネジの六角部分をケースウラのネジ取り付け穴へ入れ、左へスライドさせます。

穴の左内側にネジの六角部分がはまるストッパーがありますので、そこへはまるようにします。

2 ストッパーにはまっている状態で、フランジ付六角ナットを使用して固定します。

2 メーターの取り付け

- 取り付けたいパネルのオモテ側から、メーターを差し込みます。
- ウラ側で、取り付けたネジヘコの字ステーをはめ込み、ばね座金とローレットナットで確実に締め込んで固定します。



B フレキシブルスタンドを使用しての取り付け

ある程度の強度のある場所へ両面テープを使用して固定。(コラムカバー上、ダッシュ上等)

1 フレキシブルスタンドの取り付け

- スタンドのホルダーバンド部へメーターを差し込みます。
- 差し込めない場合は、六角穴付ネジを多少ゆるめてバンドを広げて下さい。
- バンド部へメーターが差し込みましたら、六角穴付ネジを多少締めて仮固定状態にします。

2 クルマへの取り付け

- メーターの取付場所を決めます。
- 決めた場所にピッタリ付くようにスタンドを曲げます。
- 決めた場所の油分や汚れ等を確実にキレイにします。両面テープにて貼り付けます。

注意
両面テープは貼り直ししないよう、場所や状態をよく確認の上、貼り付けて下さい。

- メーターの首振り角度を決め、六角穴付ネジを両側とも確実に締め込んで固定します。

参考
取付後、5Pカブラーコード等のコード類が見えて、見ばえが悪い場合
スタンドのメーターの影になる所ヘタイラップ等で固定して下さい。

警告

- ・センサー先端の素子は破損しやすいため、取り扱いにはご注意ください。
 - ・破損防止のため、取付時までカバーをはずさないで下さい。
- 破損した場合は有償修理となります。
-

取付位置

▶ センサーは、取り付ける場所に応じて直接タップ加工(1/8PT)又は、付属のセンサー止めナットを使用して固定します。

ターボ車の取り付け位置

インタークーラーのOUT側~サージタンクの間で、穴開け加工やタップ加工ができる場所へ取り付けます。

NA車の取り付け位置

エアクリナー~サージタンクの間で、穴開け加工やタップ加工ができる場所へ取り付けます。

取付位置の加工方法

警告

タップ加工、又は穴開け加工する時は、加工する部品を必ず取り外してから行い、加工で出るカスやゴミ等が内側に残らないようにご確認の上、元の場所に戻して下さい。ゴミ等がエンジン内に入ると、エンジンが破損する場合があります、危険です。

A タップ加工して取り付ける場合

- サージタンク、又はパイプ等で、取り付けたい場所の肉厚が3mm以上ある、アルミ等の金属部に取り付ける場合。
- 8.5の下穴を開ける。
 - 1/8PTのタップ加工をする。
 - センサーを直接ネジ込んで固定する。
-

B ナットを使用して取り付ける場合

- ゴムやプラスチックのパイプ等、タップ加工できない場所へ取り付けする場合。
- 約 9の穴を開ける。
 - センサーをネジ込む。
 - 内側からセンサー止めナットで固定する。
-

ナット使用の注意

- 肉厚が5mm以上の場所ではナット固定ができませんので加工する前に必ずご確認下さい。(図A)
- ナットのネジ山もセンサー同様に1/8PT(テーパータップ)になっています。取り付け前にナットをセンサーにはめてみて、深くはまっていく方向をお確かめの上、ご使用下さい。(図B)
- ナットがゆるく感じられる場合は、センサーのネジ部にシールテープを巻くなどして、しっかり止まるようにして下さい。

ナットで内側から止める時、センサー先端の素子を破損させないようにご注意ください。

広い方からはめるとスムーズにはまるとすぐに止まります。 せまい方からはめると

センサーの取り付け例 > ムーブL600Sの場合

- インタークーラーのOUT側のゴムパイプを外します。
- 約 9の穴を開け、センサーをネジ込みます。
- パイプの内側から、センサー止めナットにて固定します。
- パイプ内側のゴミ等がないか確認の上、元の場所へ戻します。